

2024年度第2回 行動科学・サバイバーシップセミナー

テーマ 病気をもつ人の”こえ”を医療、社会につなぐ懸け橋
～ 患者支援団体の立場から ～

講師 一般社団法人ピーパック 代表理事 宿野部武志 様

日時 2024年7月10日(水)17:00～18:00

開催形式 完全WEB開催(Zoom)

参加費 無料

参加申込 QRコードまたはURLよりお申込みください
<https://forms.gle/Aa9g8tnec1P6pgD36>
(セミナー終了時間までお申込みいただけます)



セミナー要旨

現在、「患者市民参画(PPI)」の流れもあり、医療や社会的な活動計画、改善の取り組みに患者・市民の意見を取り入れることは必須の課題である。医療者・研究者・企業・患者・市民という異なる立場や多様な価値があるなかで、病気をもつ人の“こえ”の価値を届けるにはどうしたらよいか、患者支援団体の立場から求められるあり方を講述する。

講師プロフィール

1968年生まれ(56歳)。3歳時に慢性腎炎に罹患。18歳より慢性腎不全により透析導入。現在透析歴37年目。2008年腎臓がんにより左腎臓を摘出。身体障がい者。社会福祉士。両立支援コーディネーター。

14年勤めたソニー株式会社退職後、社会福祉士の資格を取得、その後2010年にパシエントフッド起業。2019年に一般社団法人ピーパックを起業。2020年にパシエントフッドをピーパックに吸収合併。当事者としての経験と想いを、当事者と医療の現場に還元すべく、講演・研修事業、アドバイザリーをはじめ、幅広い活動を行い、医療者、医療系企業、患者会、病気をもつ個人など多くのコネクションを持つ。

主催 国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学・サバイバーシップ研究部
SaQRA (日本がんサバイバーシップ研究グループ)
早稲田大学人間科学学術院・名古屋市立大学大学院

問合せ先 SaQRA事務局 saqra_contact@ncc.go.jp

